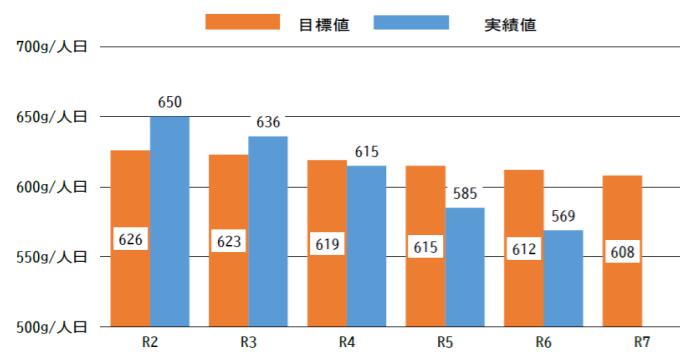


大田区一般廃棄物処理基本計画（令和8年度～令和17年度）

これまでの成果と実績

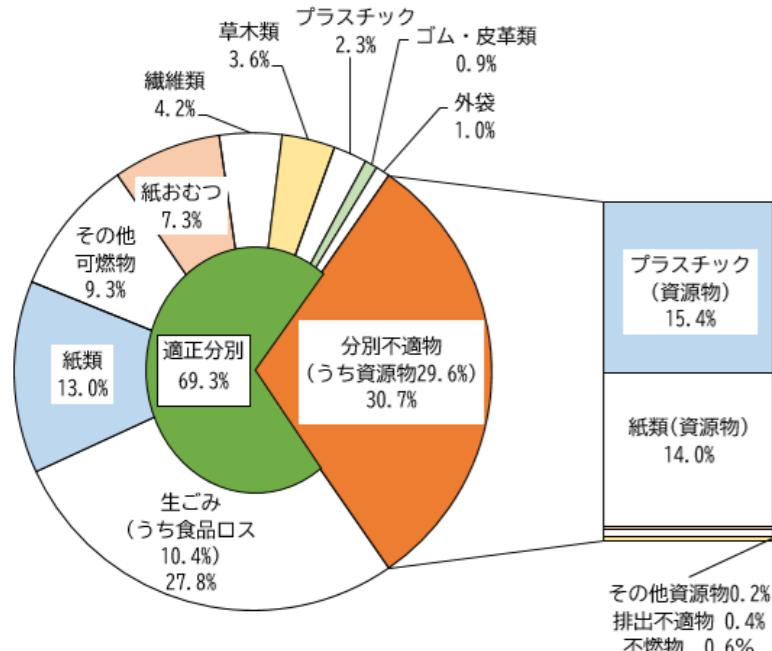
【計画指標1 区民1人1日あたりのごみと資源の総量】



前計画の期間中、ごみ分別アプリの導入や古着の拠点回収のほか、プラスチックの分別回収など、様々な取組を推進してきました。これらの取組の効果に加え、区民・事業者の皆様による、ごみ減量、分別のご協力により、指標としていた「区民1人1日あたりのごみと資源の総量」を、着実に減少させることができました。令和6年度の実績値は569g/人日で、目標を前倒しで達成しています。

現状と課題

【令和5年度家庭ごみ組成分析調査(可燃ごみ)】



1 資源回収の推進

令和5年度に実施した家庭ごみ組成分析調査によると、可燃ごみには資源化できる品目が29.6%（紙類14.0%、プラスチック15.4%）含まれています。令和7年4月からプラスチックの分別回収を区内全域で開始しましたが、既存の資源化品目についても回収量の増加をめざすとともに、新たな資源回収の対象品目についても検討していく必要があります。

2 生ごみの減量の推進

可燃ごみのうち27.8%が生ごみで、消費期限・賞味期限切れなどで廃棄された直接廃棄や食べ残しは10.4%（食品ロス）となっており、生ごみの減量を推進する必要があります。

※各項目の計は、小数点以下の端数整理のため、合計欄と一致していません。

計画指標と目標値

前計画に引き続き、「計画指標1 区民1人1日あたりのごみと資源の総量」

「計画指標2 区民1人1日あたりの区収集ごみ量」を、次のように設定しました。

計画指標1	区民1人1日あたりのごみと資源の総量	実績値 令和6年度 569g	中間目標値 令和12年度 518g	最終目標値 令和17年度 473g	削減量 96g (16.9%)
-------	--------------------	----------------------	-------------------------	-------------------------	-----------------------

計画指標2	区民1人1日あたりの区収集ごみ量	実績値 令和6年度 442g	中間目標値 令和12年度 378g	最終目標値 令和17年度 333g	削減量 109g (24.7%)
-------	------------------	----------------------	-------------------------	-------------------------	------------------------

具体的な施策

基本理念 区民、事業者、区が連携してめざす持続可能な循環型社会の実現

基本方針1 3R+Renewableの推進

(1) 発生抑制に向けた取組の推進

(2) 多様な資源回収のさらなる推進

(3) 食品ロス削減の推進

基本方針2 適正処理の推進

(1) 適正なごみ・資源の排出の推進

(2) 安定的な収集・運搬体制の構築

(3) 清掃一組・東京都と連携した中間処理・最終処分等の実施

(4) 自然災害への対応

基本方針3 協働の推進

(1) 環境教育・環境学習の推進

(2) 区民・事業者への働きかけ

(3) 区による率先行動

普及啓発
・DX

重点施策

1 雑がみ回収の強化

削減

資源化できる紙類（お菓子の箱、紙袋など）の分別回収を強化します。

2 プラスチック分別回収の強化

可燃ごみに含まれるプラスチックの量を削減するための取組を推進します。

3 食品ロスの削減

家庭系、事業系を問わず、食ロスの削減に向けた普及啓発等を強化します。

4 自然災害への対応

災害

地震や水害時に排出される被災ごみの収集、処理体制を強化します。

5 清掃事業データの見える化

情報発信

ごみや資源の数値をわかりやすく発信することで、行動変容に繋げます。

6 外国人向け広報の強化

分別のルールなどを多言語でわかりやすく発信します。

7 手続きのオンライン化の推進

DX

各種手続きのオンライン化を進めることで、区民の利便性を向上します。

8 デジタルを活用した収集体制の整備

持続可能な収集体制の維持と、サービスの質の向上を実現します。